



日本共産党
市議会議員団
週刊議会報告
【発行】
魚谷さとる
(0848-22-2810)
岡野長寿
(0845-22-2596)

御調町の「乗合タクシー」月約80名が利用

—「もっと早い時間に運行開始を」の声も—

月別・地域別の利用実績

路線	10月	11月	12月
菅野・上川辺	29名	38名	36名
河内・今津野	40名	24名	*78名
綾目・大和	18名	11名	9名
計	87名	73名	123名

*印は小学校の課外授業で利用したため増えた

御調町では10月から町内を3つの地域に分け、その地域を週2日、午前9時から1便、御調支所など中心部へ向かう便と、帰り便として午前1便と午後2便の計3便を「みつき乗合タクシー」として運行しています。

これは、民間バス路線の廃止にともなって実施するようになったもので、前日までに予約すれば利用でき、自宅まで乗合タクシーが迎えに来てくれ、帰り

21日に開かれた「生活交通等特別委員会」では、昨年10月から御調町で実施されている「みつき乗合タクシー」の実施状況の説明が市の担当課からありました。その資料によると、毎月の利用者は、3つの路線を合わせて80名程度であることがわかりました。また、利用者から現在9時となっているスタート時間を「もっと早めて欲しい」との要望が上がっていることも明らかにされました。

も自宅まで送ってくれます。利用料は300円で、事前に予約すれば誰でも利用できることになっています。

この制度を実施する前の説明会や「特別委員会」などで共産党市議団は、三原市の本郷町や大和町、世羅町の状況を調べた上で、午前9時からの運行開始時間を早めることや、運行日を増やすように求めました。これに対し担当課は、とりあえず実施しながら、状況や要望によって改善したいとの柔軟な姿勢を示しました。

これまでも「デマンド

交通」の実施を求める

尾道市は2市3町の合併により、島嶼部や周辺部が加わりました。また、その地域を運行する民間バス業者は、乗客が少ないため走らせれば走るだけ赤字が増える状況にあります。結果、便数を減らさざるを得ないということになり、市民はますます不便になるという悪循環に陥っています。

この現象は尾道市だけでな

アベ9条改憲ノー、戦争法廃止求め 今年最初の「19日行動」



リレートークのメンバー、右前が岡野長寿市議

「9ちゃん」が駅前にも初登場、大活躍

1月19日(土曜)午後2時から、尾道駅前で、「総がかり行動」が行われ、「9ちゃん」が、「改憲ストップ」を訴えました。

穏やかな晴天で、通りすがりの親子や高校生の注目を浴びた9ちゃん宣伝効果抜群でした。

今年選挙で成果をあげられる年



この日も、青年や尾三地域労組のメンバー、弁護士、教師OB等多彩なメンバーがリレートーク、あつという間の1時間でした。

口火を切った岡野長寿市議は、「新年度予算では防衛費が膨らむだけでなく中身が危険、敵基地攻撃の戦機を搭載できる空母建造調査費の計上、長距離巡行ミサイル導入等、明らかな専守防衛からの逸脱だと新しい軍国主義の危険を指摘、春、夏の選挙で安倍政権に痛打を」と訴えました。

その他、立憲主義のそもそも論、消費増税ストップ、沖縄基地建設ストップなどの訴えが行われました。

政策の中で 「御調町の「乗合タクシー」制度の 改善と周辺部での実施を」

- 4月の市議会議員選挙を前 第4「教職員を増やし、ゆきに日本共産党尾道市議団は、 届いた教育に」
- 「くらし第一の市政」をめざす 第5「市内中・商業者への支援次を示す6つの柱の基本政策を」
- 第6「住民の願いに応えた町づくり」
- 第1「安心できる医療・介護を実現しよう」
- 第2「尾道を子育てしやすい町に」
- 第3「安全安心、災害に強い町づくり」
- を掲げていますが、第6の柱のひとつとして「御調町の『乗合タクシー』制度の改善と周辺部での実施」の実現をめざしています。